



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス 上場取引所 福
コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 泉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理局長 (氏名) 市川 健治 TEL 092-852-6624
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,467	41.7	191	857.8	336	177.8	142	137.3
2025年3月期第1四半期	5,269	△5.6	19	△92.2	121	△64.7	60	△65.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 567百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △172百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	65.13	—
2025年3月期第1四半期	27.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	57,899	41,204	68.7
2025年3月期	55,498	40,811	71.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 39,787百万円 2025年3月期 39,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	75.00	75.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,400	25.4	1,020	△25.3	1,240	△19.9	490	△38.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	2,240,000株	2025年3月期	2,240,000株
2026年3月期1Q	47,966株	2025年3月期	47,966株
2026年3月期1Q	2,192,034株	2025年3月期1Q	2,192,067株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続ки、インバウンド消費についても過去最高水準で推移するなかで緩やかな回復が見られました。一方、国内では物価上昇が続いており、加えてエネルギー価格や原材料価格は高止まりしております。景気の先行きは、米国の関税政策や中国経済の低迷等の影響が懸念されており、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、主力事業である放送関連事業はテレビ部門の売上が堅調に推移しました。システム関連事業につきましても官民ともにDX・IT化が引き続き活発であることなどから、前期の売上を大きく上回りました。また、Fun Standard(株)及び(株)ベーシックリビングを連結対象にしたことにより当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高74億67百万円（前年同期比 41.7%増）、営業利益は1億91百万円（前年同期比 857.8%増）、経常利益は3億36百万円（前年同期比 177.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億42百万円（前年同期比 137.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「放送事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の4区分から、「放送関連事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」及び「ライフスタイル事業」に変更しております。セグメントごとの比較情報については、上記セグメント変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しております。報告セグメントの詳細につきましては、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）に記載しております。

①放送関連事業

放送関連事業は、収入39億14百万円（前年同期比 8.9%増）、営業利益33百万円（前年同期は営業損失64百万円）となりました。

テレビ部門は、収入34億76百万円（前年同期比 8.9%増）となりました。主力商品であるスポット収入は、全国的に好調で前期を上回る水準で推移しました。多くの業種で前期比プラスとなりましたが、特に人材サービス、薬品やレジャー施設等の出稿が増加したことで6.9%増となりました。タイム収入につきましても、女子プロゴルフ「Sky RKBレディスクラシック」や「博多どんたく港まつり」等の放送に関連するイベントが好調であったことから11.0%増となりました。

ラジオ部門は、収入2億39百万円（前年同期比 1.9%減）となりました。スポット収入はイベント関連の告知CMが好調だったこと等で23.2%増加しましたが、タイム収入が番組の終了等により10.4%減となりました。

その他放送関連部門は、収入1億98百万円（前年同期比 24.7%増）となりました。催事では「富田伊織 新世界『透明標本』展」等を開催し、舞台では「マクベス」等が好調だったことにより増収となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入17億65百万円（前年同期比 25.3%増）、営業利益1億32百万円（前年同期比 133.8%増）となりました。小売チェーン店への情報セキュリティ関連システムやネットワーク関連機器の販売が売上を押し上げました。官公庁向け自治体標準化対応も増収の要因となりました。また、受注価格の適正化やSEの適正配置を推し進めたことにより営業利益は大幅に増加しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億74百万円（前年同期比 4.2%増）、営業利益2億70百万円（前年同期比 2.7%増）となりました。RKB駐車場の稼働率が高かったことや賃貸物件を新たに購入したこと等により増収増益となりました。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高を加えた不動産事業の収入は4億90百万円であります。

④ライフスタイル事業

ライフスタイル事業は、収入15億13百万円（前年同期は2百万円）、営業損失41百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。当連結会計年度より、Fun Standard㈱及び㈱ベーシックリビングを連結対象にしたことにより大幅増収となりました。Eコマース部門はカー用品や防災用品が大幅に売上増となり営業利益を確保しました。サーモン陸上養殖部門については、工場建設に伴い減価償却費等が発生し営業損失となりました。この結果、ライフスタイル事業全体としては増収減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、578億99百万円と前連結会計年度末と比べ24億円増加しました。これは主に、サーモン養殖施設の完成等により有形固定資産が13億31百万円、及び、株価の上昇等により投資有価証券が8億29百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、166億94百万円と前連結会計年度末と比べ20億7百万円増加しました。これは主に、サーモン養殖施設の完成等に伴い固定負債のその他に含まれるリース債務が20億61百万円増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、412億4百万円と前連結会計年度末と比べ3億92百万円増加しました。これは主に、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が3億87百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,616	9,486
受取手形、売掛金及び契約資産	4,603	2,971
電子記録債権	1,400	2,006
有価証券	100	100
棚卸資産	1,044	1,397
その他	1,125	1,274
貸倒引当金	△28	△27
流動資産合計	16,862	17,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,716	7,328
機械装置及び運搬具（純額）	859	796
土地	14,227	14,227
建設仮勘定	2,638	348
その他（純額）	2,133	4,205
有形固定資産合計	25,576	26,907
無形固定資産		
のれん	466	455
その他	539	611
無形固定資産合計	1,006	1,066
投資その他の資産		
投資有価証券	9,613	10,442
その他	2,441	2,275
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,053	12,716
固定資産合計	38,636	40,690
資産合計	55,498	57,899
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	534	413
短期借入金	664	933
1年内返済予定の長期借入金	46	26
未払法人税等	245	160
その他	4,034	3,845
流動負債合計	5,525	5,379
固定負債		
長期借入金	293	286
退職給付に係る負債	4,375	4,189
その他	4,492	6,839
固定負債合計	9,161	11,315
負債合計	14,687	16,694

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	35,460	35,438
自己株式	△185	△185
株主資本合計	35,839	35,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,638	4,026
退職給付に係る調整累計額	△62	△56
その他の包括利益累計額合計	3,576	3,969
非支配株主持分	1,396	1,416
純資産合計	40,811	41,204
負債純資産合計	55,498	57,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,269	7,467
売上原価	3,427	4,629
売上総利益	1,842	2,838
販売費及び一般管理費	1,822	2,647
営業利益	19	191
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	83	123
その他	18	27
営業外収益合計	102	153
営業外費用		
支払利息	0	4
その他	0	2
営業外費用合計	1	7
経常利益	121	336
税金等調整前四半期純利益	121	336
法人税等	48	161
四半期純利益	72	174
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	142

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	72	174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△244	387
退職給付に係る調整額	△0	5
その他の包括利益合計	△244	393
四半期包括利益	△172	567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184	536
非支配株主に係る四半期包括利益	12	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはこれまで「放送事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の区分で経営管理してきましたが、Fun Standard(株)及び(株)ベーシックリビングを連結対象にしたことに伴い「その他事業」の重要性が増してきました。そのため、新たに「ライフスタイル事業」を新設いたしました。

なお、これに併せてこれまで「その他事業」に分類してきた催事(イベント企画・制作)等及び太陽光発電につきましては、事業との親和性・関連性を鑑み、それぞれ「放送関連事業」及び「不動産事業」に含めて分類しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービス及びグループ会社

報告セグメント	主要製品及びサービス	グループ会社
放送関連事業	テレビ・ラジオ放送・番組制作 メディアコンテンツ開発・催事開催 放送業務等への人材派遣	RKB毎日放送(株) (株)RKB CINC
システム関連事業	システム(ソフトウェア)開発 クラウドセキュリティーサービス	(株)BCC
不動産事業	不動産の賃貸・仲介・管理 不動産有効活用(太陽光発電)	(株)RKB毎日ホールディングス RKB興発(株)
ライフスタイル事業	サーモン陸上養殖 Eコマース・製品企画開発	宗像陸上養殖(株) Fun Standard(株) (株)ベーシックリビング

Ⅱ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送関連 事業	システム 関連事業	不動産事業	ライフ スタイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,594	1,408	263	2	5,269	—	5,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	19	209	—	231	△231	—
計	3,597	1,428	473	2	5,501	△231	5,269
セグメント利益又は損失 (△)	△64	56	263	△18	236	△216	19

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△216百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入29百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△246百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送関連 事業	システム 関連事業	不動産事業	ライフ スタイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,914	1,765	274	1,513	7,467	—	7,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	17	215	0	238	△238	—
計	3,919	1,782	490	1,513	7,706	△238	7,467
セグメント利益又は損失 (△)	33	132	270	△41	395	△203	191

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入34百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△238百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	276百万円	289百万円
のれんの償却額	— 百万円	11百万円

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	比率(%)
テレビ収入	3,203	90.4	3,483	90.4	279	8.7
ラジオ収入	251	7.1	246	6.4	△4	△1.8
その他放送関連収入	89	2.5	122	3.2	33	37.3
合計	3,543	100.0	3,852	100.0	308	8.7